

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 1

2023年4月28日発行

1年のスタートの聖句

『主はすべてのものに恵みを与え

造られたすべてのものを憐れんでくださいます』(詩編 145章9節)

4月の聖句『わたしの目にあなたは^{あたいたか}価高く、^{とうと}貴い』

ねらい：神様に大切にされていることも

(旧約聖書イザヤ書 43章4節より)

わたしの目にあなたは価高く、貴く、わたしはあなたを愛する。

古代キリスト教思想家アウグスティヌス(354-430)は、このような言葉を残しています。「神は、まるで私ひとりしかいないかのように、私たちみなを愛する」

「ひとり」に集中し「すべて」に注ぐ愛、それが神さまの愛なのだ。

春、子どもたちの姿をみながら、神の愛のうちに守られ、育まれることを祈ります。

ふと「どの花 みても きれいだな」あの童謡の歌詞がうかんできました。

チャブレン 司祭いけだとおる

あたらしい1年が始まりました!

長い事、コロナ感染症に脅かされ、振り回され、世界中が必死でしたね。

幼稚園でも、子ども達やご家族、特にお年寄りや病気の方たちの命を守るために、日々の過ごし方をどうしたら良いか、職員でどれだけ話し合ってきたかわかりません。

本当に大変でしたが、今年度はようやく普通に近い生活が戻ってきそうです。

幼稚園では、コロナ以外にも様々な感染症が発生しますので、まだ規制はありますが、少しずつ、今までできなかったこともしていきたいですね。

人と人とが実際に会って関わり合う、そんな活動を取り戻したいですね。

新しいおともだちとご家族も、聖十字幼稚園の大きな家族に加わりました。

素晴らしい1年になりますよう、よろしくお願ひいたします。

園長 菊地 和子

4月、しろくまちゃんとこぐまちゃん、ぐりとぐら、こんとあきの3つのクラスに新しいお友達がいっぱい来てくれました!

新しいおともだち

しろくまちゃんとこぐまちゃんでは

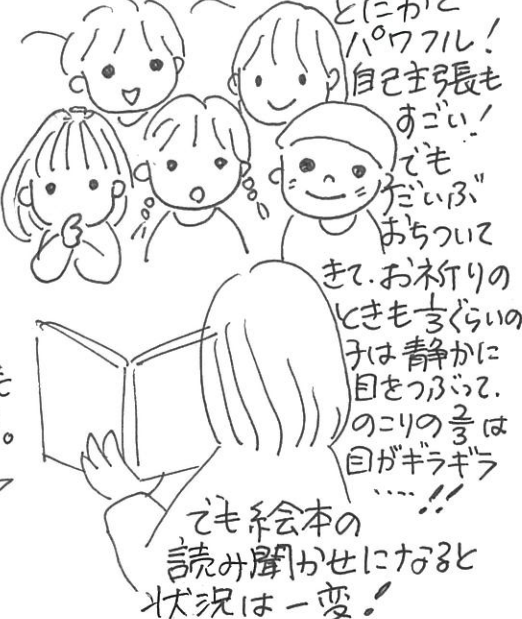


最初はほほ全員が泣いて抱っこ抱っこ...お部屋から月見走しょうとしたりなつかしさを泣きやまず大変でしたよ。



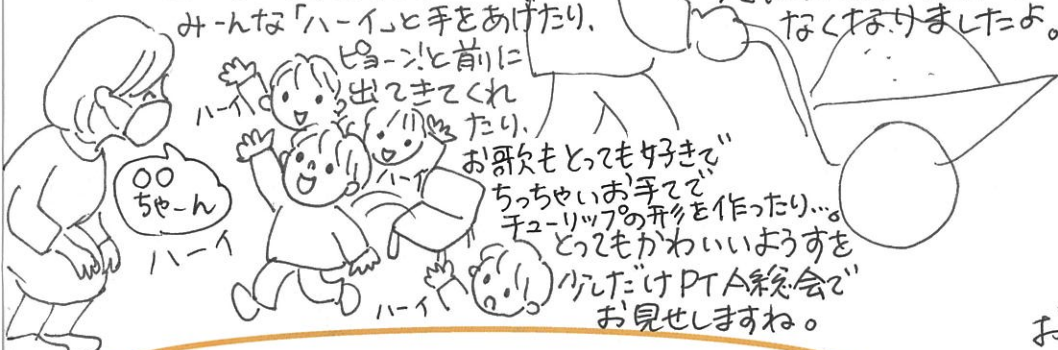
それでも先生が窓から外を見せて気をそらしたりすると、園庭の宮西先生に「パパー」と手を叩いて「パパー」やないけどとりあえずご気嫌がなあって...でも今ではほとんど泣くこともなくなりましたよ。

ぐりとぐら系田さんの方は泣くといつても、お母さんをお母さんというよりは「お母さん」泣いていたそうです。



とにかくハワフル!自己主張もすごい!でもたいぶおちついてきてお祈りのときもさぐらひは静かに目をつぶらて。のりのき目はキラキラ!!
でも系会本の読み聞かせになると状況は一変!それはそれはすばらしい集中力がすごいです。おうちでいっぱい読んでもらってますね。

朝の会でおなまえをおうと



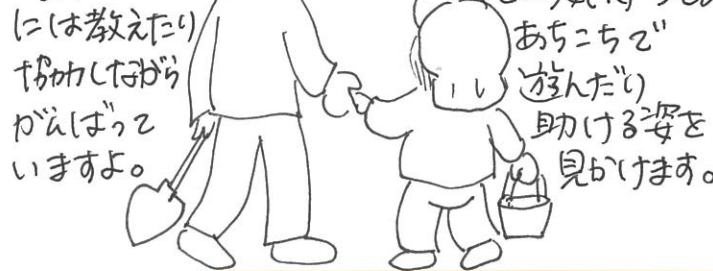
みんな「ハイ」と手をあげたり、ピョンと前に出てきてくれたい。お歌もとても好きでちっちゃいお手でチューリップの歌を作ったり...とってもかわいいようすも、PTA総会でお見せしますね。

幼稚園で一番のお兄さんお姉さん

最年長になったエルマとリゅうさん

3月までは自分のマークをたよりに収納場所を見つけていたけれど、4月からは自分のお名前を文字で読める練習を

しています。苦手なお友達には教えてあげたりがんばっていますよ。



小さい子を助けよう!という気持ちもあって「あちこちで」お兄さんお姉さん助けよう姿を見かけます。

クラスの係はリーダー係、制作係、給食係がいますが今年から「パトロール係」が登場!園庭やおへやの片づけのパトロール係以外のおなだちもがんばっていますよ。



おへやの片づけでは、恐竜と動物の片づけ方に「ストーリー」があるらしく、

春休みの雪割り、4月の園庭整備

3月末、園庭ではお父さんたちが雪割をしてくれていました。あれからたった1か月ですが、今日は子ども達がはだして駆け回っています。この気温差!すごいですね。4月半ばにはお母さんたちが来て地面の松葉や石などをきれいに掃除して、ブランターの整備や滑り台の板の打ち付けなど、危険なところがないかチェックしながら、ふかふかの安全な園庭に整えて下さいました。ありがとうございます!「今日は来れなかったけど来たい人はもっといますよ」という事だったので、今後ぜひ、自由にお手伝いしていただけるように、組んでいきたいと思ひます。力強い応援団に支えられています。

ある日は岩に恐竜が乗っていたり、ある日は口に動物をくわえていたり、又、ある日は全員でおれり色紙を貼っていました!

おもしろいですね!このおなだちの担任の先生が楽しんでますよ。